

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践」

授業実践例(5年(体育):跳び箱運動(頭はね跳び)における自分の分析カードを作ろう！)

単元の目標

自分の技と他者の技を見比べ、コツやポイントを共有しながら、自分が目指す理想の動きに向かい、自己調整を行いながら学びを進めることができるようにする。

課題の設定・課題の発見 情報の収集 情報の整理・分析 まとめ・提案方法・表現

前時の演技から自分の課題の確認を行う

児童が身に付ける技能

- ・Googleスライドの活用
- ・三輪野江小オリジナルアプリの活用
- ・Googleドライブの活用

学習の流れ



はじめに、教師から目指す動きの動画や写真を提示し、目指すゴール像をイメージさせる。試しの運動で記録した自分の姿と目指すゴール像を比較し、現状の自分の課題を発見し、活動するめあてを決める。自分の活動のめあてをGoogleスライドにメモしておき、感じたことや見つけたコツなどを書き込めるようにしておく。自分の演技は三輪野江小オリジナルアプリを使用し、いつでも理想の動きと自分の動きを見比べられるようにしておく。

本時で自分の演技を動画で撮影し、蓄積する

児童が身に付ける技能

- ・カメラ、動画のファイル保存
- ・Googleドライブへのデータ移行方法
- ・音声入力機能の活用
- ・スロー再生機能の活用

学習の流れ



ペア活動やグループ活動を通し、パートナーやチームメイト同士で演技を撮影し、客観的に動きを確認することで、児童自身の課題を明確化し、自己調整につなげる素地づくりを行う。撮影した映像は、デジタルポートフォリオとして学習カードにはりつけ、その日の振り返りに使用したり、前時の振り返りの際にいつでも見返せるようにしておくことで、課題意識をもてるようになる。

課題の設定・課題の発見 情報の収集 情報の整理・分析 まとめ・提案方法・表現

自分の演技を動画や写真で分析を行い、次時に生かす

児童が身に付ける技能

- ・キャプチャ機能の活用
- ・技能ポイントカードへの接続方法と共有方法
- ・Googleスライドの情報のまとめ方

学習の流れ



自分の演技を蓄積し、いつでも見返せるようにしておくことで、授業での活動中や授業時間外でも自分の課題を振り返ることができ、次時の授業の課題意識の明確化を図る。また、Googleスライドに自分が感じたことや見つけたコツをメモ書きとして残した内容を学級内で共有することで、技のポイントやコツについて共通認識することができるようにする。

どんな風に表現するのかそれぞれの児童が決める

児童が身に付ける技能

- ・写真、動画の編集方法
- ・振り返りのためのスプレッドシートの活用
- ・Googleドライブへのデータ移行と保存方法

学習の流れ



自分や友達の演技を改善・修正していく中で見つけたポイントやコツを活かし、単元終盤で他者に対し表現していく。技の組み合わせ方や構成など、今の自分ができる技を使って美しい表現ができるよう、自己調整を行いながら、演技を行い、その演技の写真や動画を自分なりに解説しながらまとめることで、思考力や判断力の向上を図る。

個別最適な学び

自分の試技の映像を蓄積することで、授業の際の即時フィードバックのみならず、学習の振り返りでも客観的に自己評価をすることができ、学びの深まりが見られた。

協働的な学び

試技の映像を見ながら話し合いを行うことで、見るべき視点が明確になり、学びの深まりが見られた。また、スプレッドシートに振り返りを記入することで、他者の意見や考えを知ることができ、学びの視点を広げることができた。

